

「近隣の自然の変化に目を向ける No. 6 野の花を見よ Watch wild flowers」

2020年5月7日

「野の花がどのように育つのか、注意して見なさい。働きもせず、紡ぎもしない。
しかし、言うておく。栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。
今日は生えていて、明日は炉に投げ込まれる野の草でさえ、神はこのように装ってくださる。」
聖書 マタイによる福音書 6: 28-29

道端に咲く小さな野の花を見ると、
与えられた場所で精一杯生きていることに気づく。
他と比較して、羨むことも卑下もせず、
自分に与えられた生（花／容姿、葉や茎の高さ／外形）を大空に向かって開いている。
たとえ人から見られなくても、誉められなくても気にしない。
だから野の花は美しい。
神が野の花にも命を与え、養っている。
植物はみな神が創った自然の法則の中で生きている。
野の花がそれを知らなくても、生きている姿がそれを証している。
野の花はいつ人に踏まれ、刈り取られるか分からない。
大雨で根こそぎ流されるかも知れない。
でも、寿命（神から与えられた地上での命）として受け入れ、今を生きている。
寿命を全うした後には種を残す。そうして、次ぎの世代に命をつないでいく。
仮に半ばで命を失ったとしても、命を授けた愛の神は、一つひとつの野の花生涯を慈しみ
命の書にその名を記し、永遠の命を与えられる。
だから、今生きて困難に遭っても思い悩むことなく、今いる所で自分の生を精一杯生きよ。
その生き方は、比類なき知恵者で、権力と栄華を極めたソロモンも及ばない、
とイエスは言った。

なぜか？どの点を注意して見るとその答えがわかるのでしょうか？

1つは、添付する野の花の写真と野外の花を見て考えてみてください。
第2に、聖書マタイによる福音書6章30節以下を読んでみてください。

http://sengawacx.com/LookNatureN06_2020.jpg